基本政策 6
産業

板橋らしい産業の魅力を創造・発信するにぎわいあふれるまち

めざす姿

板橋の特徴的な工業・商業・農業が持続的に発展し、区民の生活が豊かになるためには、業歴や業種などの垣根を越え、それぞれの強みを活かしてつながることで生まれる、これまでにない革新的な価値の創造、ひいては魅力あふれる板橋産業ブランドの確立に向けたまちづくりを進めることが大切です。

板橋らしい産業の魅力を創造・発信するにぎわいあふれるまちをめざします。

生成AI※などを活用した技術革新が進み、新たな産業基盤が確立し、板橋の魅力創出につながっています。また、物理学の聖地である旧理化学研究所を含む国史跡の陸軍板橋火薬製造所跡を拠点とし、小中学校と連携した歴史や自然科学などの「学び」の相乗効果が創出され、地域におけるにぎわいや魅力が高まっています。

戦後の成長を支えてきた光学・精密機器産業や都内有数の印刷製本産業をはじめ、多様な産業がつながり、新たな産業が生まれることで持続的に発展しています。また、区内外に「板橋産業ブランド」が根付き、魅力的なイベントや商店街が地域に愛され、まちに活気とにぎわいがあふれています。

「光学の板橋」や「絵本のまち」など区内産業の魅力や文化が区内外へ浸透し、「板橋らしさ」あふれる魅力的なブランド価値が生み出されています。また、板橋独自のみどりや文化などの地域資源を活かした観光振興や農業振興が、板橋での暮らしに対する愛着と誇りをはぐくみ、楽しくこころ豊かに暮らせるまちが実現しています。

施策・主な取組

施策 6-1 **時代の変化を乗り越える産業基盤の強化** p.112
主な取組 ▶ 産・官・学・金が一体となった産業連携体制の構築など

施策 6-2 **イノベーションを起点とした成長志向の産業育成** p.114
主な取組 ▶ 産業の潮流を捉えた事業継続支援、事業者の成長を加速させる業態転換・事業拡大支援など

施策 6-3 **産業の成長と区民生活の融和** p.116
主な取組 ▶ 産業に共感する体験機会の創出、将来の区内産業を担う子どもへの次世代教育など

施策 6-4 **魅力ある観光振興と都市交流の推進** p.118
主な取組 ▶ ボランティアガイドの育成・活用、魅力的なイベントの実施など

関連する主な個別計画

- 板橋区産業振興構想２０３５
- 板橋区観光振興ビジョン２０３５

施策 6-1 時代の変化を乗り越える産業基盤の強化

関連するSDGsのゴール

施策の目標

産・官・学・金が一体となった産業連携体制のもと、多様な人材が育ち、高い競争力を持ち続ける経営基盤が維持・強化されています。

施策の概要

区内事業者が高い競争力を維持し成長し続けるため、区が連携をつなぐ役割を担い、区内事業者と支援機関が一体となった体制を構築します。区内事業者が多様な人材を採用・定着できるように、採用・育成機会を創出し支援します。

施策の成果指標

	基準値	中間目標値	最終目標値
経営基盤を維持・強化している区内事業者の割合 ▶ 新たに指標を設定	基準値調査予定	令和12年度 基準値確認後に設定	令和17年度 基準値確認後に設定
多様な人材・中核人材が充足している区内事業者の割合 ▶ 新たに指標を設定	基準値調査予定	令和12年度 基準値確認後に設定	令和17年度 基準値確認後に設定

主な取組

産・官・学・金が一体となった産業連携体制の構築

区内産業における課題を面的に把握し、時代の変化を捉えた産業振興施策の見直しや再構築をスピード感を持って実行するため、事業者・支援機関の連携を広げ、深める産業連携体制を構築します。

オールインワン相談窓口の整備

事業者の課題に対して包括的な伴走支援を可能にする支援体制の整備、それぞれの支援策が有機的につながるコーディネート機能の強化などに取り組みます。

人材採用・育成などの支援

工業・商業・農業分野を中心とした様々な産業において、区内の若手や地域の人材を中心とした多様な人材の確保・定着支援や中核人材の育成機会を創出します。

現状・課題

- 複雑化し、急速に変化する社会経済情勢において、課題を面的に捉えた、産・官・学・金が一体となった産業連携体制の構築が求められています。
- 労働生産人口の減少により、中小事業者にとって人材確保・育成はますます困難となっています。
- 商店街数は年々減少し、担い手不足への対応とまちづくりと連動した魅力創出が求められています。
- 農業人材の育成を進めているものの、区内農地、農家戸数は減少傾向にあります。

施策 6-2 イノベーションを起点とした成長志向の産業育成

関連するSDGsのゴール

施策の目標

区内外の事業者や様々なプレイヤーが出会い、板橋区産・板橋区発の新たな価値が創出され、ブランドが確立しています。

施策の概要

区内事業者に対して、時代の変化に対応し事業内容を更新できるよう、成長志向の事業継続支援と業態転換・拡大支援を行います。また、区内外の事業者や多様なプレイヤーに、イノベーション創出のため、出会いと実証・実装の場を提供します。「板橋区産・板橋区発」自体が付加価値となるブランドを確立します。

施策の成果指標

施策の成果指標	基準値	中間目標値	最終目標値
競争力が向上している区内事業者の割合 ▶新たに指標を設定	基準値調査予定	令和12年度 基準値確認後に設定	令和17年度 基準値確認後に設定
イノベーションを創発・実装している区内事業者の割合 ▶新たに指標を設定	基準値調査予定	令和12年度 基準値確認後に設定	令和17年度 基準値確認後に設定
ブランド確立を通じて新規ビジネス・人材確保の機会を獲得できている区内事業者の割合 ▶新たに指標を設定	基準値調査予定	令和12年度 基準値確認後に設定	令和17年度 基準値確認後に設定
板橋区工業・商業・農業ブランドを実感している区内外のひと・事業者・団体の割合 ▶新たに指標を設定	基準値調査予定	令和12年度 基準値確認後に設定	令和17年度 基準値確認後に設定

主な取組

産業の潮流を捉えた事業継続支援

区内の廃業情報を広く連携し、幅広い人材を対象とした後継者マッチングによる事業承継支援や新規創業支援を実施します。またDXやカーボンニュートラル※など時代の潮流に対応するための導入支援を行い、区内事業者の持続的な発展をサポートします。

事業者の成長を加速させる業態転換・事業拡大支援

海外市場も視野に入れた販路拡大、M&A※などを通じた事業拡大、新技術・データ活用による業態転換などの支援を行います。

イノベーション創出をリードするスタートアップの育成

地域や規模を問わない事業者間ネットワークの構築や社会実装の機会などを活用し、販路獲得支援や知財活用支援などを行います。

多領域での連続したイノベーション創出支援

産・官・学・金の連携機会の創出や、区内での研究・開発フィールドの提供を通して、イノベーションを生む土壌を強化します。

付加価値の高い板橋産業ブランドの構築

板橋の産業ブランドの整理を行い、効果的なブランドマネジメントを行います。

イノベーション・エコシステム※の形成・拡大につながる産業情報の発信

区内に立地するメリットを含む区内産業の情報発信や、イノベーション創出事例の区外への発信、さらに板橋産業ブランドの確立をめざした積極的な情報発信を通して、他地域を巻き込んだエコシステムの形成・拡大を図ります。

現状・課題

- ●デジタル化、高度なデータ活用と脱炭素社会に適応した経営が求められています。
- ●人口減少社会において、高付加価値化による「質」の競争がより重要となります。
- ●差別化、高付加価値化のためには、新たな価値を創造するイノベーションの創出が不可欠となります。
- ●イノベーション創出のためにはスタートアップの育成や産・官・学・金などによるエコシステムの形成やオープンイノベーションの促進が必要となります。
- ●製造品出荷額等は都内で2位であり、製造業の実力は23区で高いものの、認知度が依然として低く、区内外へのブランディングに課題があります。
- ●区内外に対する区内産業の情報発信が不足しています。

施策 6-3 産業の成長と区民生活の融和

関連するSDGsのゴール

施策の目標

区内事業者の技術や製品が区内において実装されることで、区民生活の質の向上につながり、区民が区内産業の価値や魅力を感じ、愛着や誇りを感じています。

施策の概要

区民に対して、区内産業への共感を生むため、生活と産業をつなぐ体験機会を提供します。子どもたちに、区内就職率向上や起業家輩出を促すため、産業体験や起業家育成教育を行います。イノベーションの区内実装を促進し、産業成長と区民生活向上の連動を図ります。

施策の成果指標

	基準値	中間目標値	最終目標値
区の産業に愛着を有し将来は区の産業に関わりたいと考えている子どもたちの割合 ▶ 新たに指標を設定	基準値調査予定	令和12年度 基準値確認後に設定	令和17年度 基準値確認後に設定
板橋区工業・商業・農業によって区民生活の質を向上させていると感じている区民の割合 ▶ 新たに指標を設定	基準値調査予定	令和12年度 基準値確認後に設定	令和17年度 基準値確認後に設定

主な取組

産業に共感する体験機会の創出

区内で生まれた製品を体感する機会や展示、農業体験や地産地消の推進などを通じて次世代が区産業を体験・体感する機会を創出します。

将来の区内産業を担う子どもへの次世代教育

児童から大学生までターゲットごとに、産業と触れる機会から実践的な起業家育成まで幅広く取り組みます。

社会実証・実装フィールドの整備

規制緩和などによる他の実証フィールドとの差別化を図るとともに、区内で生まれた技術や製品の実装フィールド整備や産業と生活が融和し、社会受容性が向上するための支援などを行います。

社会実装の仕組み構築

区内の社会課題とビジネスシーズを結びつけ、イノベーションと実証フィールドを活用した社会実装を推進します。事業者には経済利益や人材定着を、区民には生活課題解決と地域産業への誇りをもたらす仕組みを構築します。

現状・課題

- 区では工業・商業・農業を中心とした伝統ある産業が根付いているものの、居住者の移り変わりや産業に触れる機会の減少などにより、転入者や子どもを中心として区民の産業への理解や愛着が薄れています。
- 上記により、地域アイデンティティの希薄化はもとより、地域内経済循環の弱体化や、区内産業の担い手不足への懸念、新規創業者の減少などが課題となっています。

施策 6-4 魅力ある観光振興と都市交流の推進

関連するSDGsのゴール

施策の目標

区民にとっては、訪れる人に思わず自慢したくなるまち
来訪者にとっては、もう一度訪れたくなるまち
になっています。

施策の概要

区民や国内外からの来訪者にとって、魅力あふれるまちになるように、歴史的・文化的資源を活用した観光プログラムの展開や四季折々の多彩なイベントの実施、観光情報の効果的な発信、交流自治体との相互連携による都市交流の促進を図ります。

施策の成果指標

施策の成果指標	基準値	中間目標値	最終目標値
いたばし観光センター来館者数	令和6年3月 3,665人	令和12年度 4,500人	令和17年度 5,500人
板橋区民まつり満足度	令和7年9月 68.8%	令和12年度 70%	令和17年度 75%
いたばし花火大会満足度	令和7年9月 82.4%	令和12年度 83%	令和17年度 85%
区民の友好交流都市の認知度 ▶新たに指標を設定	―	令和12年度 ↗	令和17年度 ↗

主な取組

ボランティアガイドの育成・活用

研修を受けたボランティアガイドが、区内観光にガイドとして同行し、区の自然・歴史・文化などを紹介しながら案内します。

魅力的なイベントの実施

区民まつりや花火大会などの開催を通じて、自分たちの住むまちへの愛着を深めるとともに地域の活性化を図り、区の魅力を内外へ発信します。

交流自治体との相互連携事業の推進

都市交流事業を通じて、区及び交流自治体の魅力を発信します。

現状・課題

- 区内には歴史的建築物、文化施設、自然など多様な観光資源が存在していますが、区民や来訪者の認知度は十分とは言えず、いたばし観光センター来館者数も伸び悩んでいます。
- コロナ禍を経て観光ニーズが変化する中、区民や来訪者のニーズを的確に把握し、魅力的な観光プログラムとして磨き上げる必要があります。
- 都市交流においては、交流自治体との連携を深め、相互の魅力発信や経済・文化交流を促進することが求められています。